

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成25年3月26日(火) 午後6時 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1** 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 教育長報告
日程第4 報告第3号 専決事項の報告について
日程第5 議案第7号 宇治市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則を制定するについて
日程第6 議案第8号 市職員を任免するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	中 筋 斉 子
委 員	久 富 明 宏
委 員	金 丸 公 一
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 谷 俊 哉	次長(兼教育総務課長)	村 田 匡 子
次長(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育改革推進室長(教育指導課長)	山 下 一 也
学校教育課長	上 道 貴 志	青少年課長(兼青少年指導センター所長)	小 田 光 雄
小中一貫教育課長	富 治 林 順 哉	教育総務課主幹	前 田 聖 子
学校教育課主幹	安 留 岳 宣	小中一貫教育課主幹	二 木 明 美
小中一貫教育課総括指導主事	瀬 野 克 幸		

(書記職員職氏名)

教育総務課庶務係長	宇 野 裕 美	教育総務課主事	大 石 慎 也
教育総務課主事	久 野 晴 香		

開 会 (午後6時)

○**開会宣言** 委員長が3月教育委員会定例会の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、金丸委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 教育長報告

- (1) 平成25年3月市議会定例会について
- (2) 予算特別委員会について
- (3) 平成24年度の小中一貫教育の取組について
- (4) 「要望書」等について
- (5) 宇治市教育委員会後援事業について

以上5件を報告する。

[説明]

(1) 平成25年3月市議会定例会について

☆ [一般質問] 2月27日・28日、3月4日・5日

代表6名(うち教育委員会関係4名) 個人7名(うち教育委員会関係2名)

【代表質問】

①松峯 茂 議員(民主党宇治市会議員団)

○教育問題について

- ・小中一貫教育の成果と課題について
- ・分散進学の問題について
- ・中学校の部活動について
- ・宇治川マラソンについて

②山崎 恭一 議員(日本共産党宇治市会議員団)

○子育て支援・教育について

・学校施設の整備について

③河上 悦章 議員（公明党宇治市会議員団）

○本市のインフラの現状と課題

○いじめ対策

④坂下 弘親 議員（自由民主党宇治市会議員団）

○市長のマニフェストについて

・教育研究所について

○国歌・国旗について

【個人質問】

①金ヶ崎 秀明 議員（自由民主党）

○武道必修化後における安全対策と武道専用施設の設置について

②坂本 優子 議員（日本共産党）

○就学援助について

・生活保護改悪による影響について

・就学援助の基準をもとに戻すことについて

○市民会館・公民館の建て替えについて

☆文教福祉常任委員会について（平成25年3月7日）

①宇治市総合野外活動センターグラウンド・ゴルフ場芝生再生工事（案）について

②宇治市小中一貫教育についてのアンケートの報告について

③教職員の交通事故について

④個人情報の紛失について

⑤障害を持つ生徒のスクールバス利用について

☆文教福祉常任委員会について（平成25年3月26日）

①通学路の安全対策箇所の公表について（道路管理者対応分）

（2） 予算特別委員会について

【部局別審査 3月12日】

【総括質疑 3月25日】

①田中 美貴子 議員

○教育について

○市民参画協働によるまちづくりについて

②松峯 茂 議員

○体罰について

③川越 清 議員

○新宇治淀線の工事と広野公民館との関係について

・広野公民館の利用環境の悪化と工事期間中及び完成後の安全対策

- ・広野公民館の敷地内の整備及び道路完成時期について
- ・広野公民館の施設改善について

④長野 恵津子 議員

- 公立幼稚園のあり方について
 - ・3年保育、4園体制について

⑤河上 悦章 議員

- 生涯学習について（鳳凰大学）
 - ・卒業生の活躍する舞台について
 - ・地域活動を紹介する講座の開講について
 - ・人材育成のための事業展開について
 - ・セカンドライフ講座の成果について

⑥秋月 新治 議員

- 学校における体罰の実態について

⑦木村 正孝 議員

- いじめ問題について
 - ・予算額と事業計画について

⑧浅見 健二 議員

- 青少年センターの財政のしくみについて

⑨水谷 修 議員

- 学校からの施設要望対応について

⑩坂本 優子 議員

- 教室施設の整備の状況について
 - ・整備の遅れについて（特に西小倉・北小倉）
- 教室不足について

（3）平成24年度の小中一貫教育の取組について

平成24年度は全ての宇治市立小中学校において、中学校ブロックを単位としたジョイントプラン（小中一貫教育推進計画）に基づき、小中一貫教育を全面実施した。

各中学校ブロックが小中一貫教育の取組について総括し、成果と課題をまとめた「平成24年度中学校ブロックジョイントプランに基づく小中一貫教育の進捗状況報告書〔年度末総括（2月末現在）〕」及び1年間の進捗状況をまとめた冊子「小中一貫教育実践事例集Ⅲ」を作成した。これらについては、小中一貫教育推進協議会及びコーディネーター会議で提示し、次年度以降の取組に活かすものとする。

また、平成24年6月～7月に、小中一貫教育に関する児童生徒、保護者の意識や意向、学校の状況などを把握するためのアンケートを実施し、「宇治市小中一貫教育についてのアンケート（児童生徒・保護者・学校）報告書」を作成した。本アンケートについては、小中一貫教育校及び小中一貫校の教育推進に活用するとともに、本市学校教育の推進及び今後の教育施策の参考に資する。

(4) 「要望書」等について

平成25年1月17日付けで北小倉小学校長及びPTA会長並びに北小倉小学校安全管理委員会代表者より「宇治市小倉町蓮池集会所北側に架かる橋の拡幅及び改修について」の提出があった。

(5) 宇治市教委後援事業について

宇治市スポーツ少年団サッカー部会の『第14回宇治チャレンジカップ少年サッカー大会』他10件、計11件の事業について後援した。

[質 疑]

[委員] アンケート調査結果では、保護者の認識と小中一貫教育の取組にギャップが見られたが、これを踏まえ次年度はどのようなことに重点を置き取組を推進していくのか。

[事務局] 広報活動をより促進していく点が1つ。また、小中一貫教育の取組を子どもたちの日常活動に繋げたものとし、子どもたちから学校の取組を家庭や地域で発信していくという形での周知も考えている。

[委員] 学校主体で進めていくのか。それとも市教委主体で進めていくのか。

[事務局] 市教委では小中連携を意識した授業改善等の事例提示を行い、学校においては各ブロックでそれを反映していく。

[委員] 想定以上に市教委の思いと異なる結果となったものはあったか。また、このアンケートは来年度も実施し、経年比較の対象とするのか。

[事務局] 多少の文言修正や設問項目の変更はあるかもしれないが、アンケートは来年度も実施し、今後経年比較の対象とする。保護者の期待値が高いが実感が伴っていない点があり、これらについては今後十分注意していくところである。

[委員] 通学路の安全対策について、「対策なし」が12件あるがその理由と今後の対応は。

[事務局] 今回の資料は道路管理者対応分のうちハード面のみを挙げており、「対策なし」の12件は地域における見守り活動や警察による交通指導等のソフト面での対応としている。

[委員] 3月7日の文福委の「障害を持つ生徒のスクールバス利用について」であるが、これについては以前要望が出ていたがどのような回答をしたのか。結果的にどのように進んでいくのか。

[事務局] 文福委では、国庫補助金にかかる目的外利用についての見解の質問が出ていたが、文部科学省に問い合わせたところ、「同じ中学校の生徒を乗せるのであれば目的外利用には当たらない」との回答であった。それを踏まえ

て市教委で協議をし、保護者に回答をさせていただくということを答えた。

[委員] つまり要望通りということなのか。

[事務局] 一定の条件を付して乗っていただけるか、現在保護者と協議中である。

[委員] 分散進学の解消については、今後どのように進めていくのか。

[事務局] 現時点で、分散進学解消についての具体的な計画はない。まずは保護者や地域の方に小中一貫教育についてのご理解をいただいた上で、校区再編等について検討していく必要があると考えている。

[委員] 柔道授業について、柔剣道場の方が体育館より事故が少ないのはどうしてか。

[事務局] 事故と施設との因果関係については、今年度データのみで判断することはできない。学校ごとの状況を見ると、特定の学校で発生件数が多かったので、授業カリキュラムや指導内容について指導・検討していく。

[委員] 具体的な事故の状況は。

[事務局] ほとんどのケースは技の掛け合いや乱取り等の複数名での取組の中で発生している。

[委員] 大外刈りは危険なため禁止している学校もあるようだが、宇治市ではどのように指導しているのか。

[事務局] 文部科学省からの柔道に関する指導の手引きにより、大外刈りは授業の中で取り扱わないことになっている。

[委員] 地域の有段者によるサポートはあるのか。

[事務局] 今年度についてはない。

○日程第4 報告第3号 専決事項の報告について

[説明] 本報告は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第3号及び第4号の規定により専決処分を行った、専決第2号から専決第4号について、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第2項の規定により報告するものである。

専決第2号「教職員の任免について」は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第3号の規定により、2月28日付退職に伴う府費負担教職員の管理職以外の任免について府教育委員会に内申するため、専決処分をしたものである。

専決第3号「宇治市少年補導委員の委嘱について」は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第4号の規定により、青少年の非行防止を目的に日々補導活動・社会環境浄化活動の推進に努めている少年補導委員について、4月1日付で1名の追加委嘱を行ったものである。今回の追加委嘱により、少年補導委員の人数は合計113名である。なお、男女別では、男性63名、女性50名となっている。

専決第4号「教職員の任免について」は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第3号の規定により、定期人事異動に伴う府費負担教職員の管理職以外の任免について府教育委員会に内申するため、専決処分をしたものである。

[質 疑] なし

[討 論] なし

○**日程第5** 議案第7号 宇治市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則を制定するについて

[説 明] 本改正は、平成25年度組織機構及び定数配置並びに定期人事異動に伴い、所要の改正をするものである。

現在、教育委員会事務局の学校教育部門担当次長の下にある青少年課を教育改革推進室に移管し、教育指導課と同室として一層の連携強化を図る。

また、事業完了等に伴い教育改革推進室小中一貫教育課の計画推進係を廃止し、計画推進係が所掌する事務の一部を同課の企画調整係に移管する。

さらに、今年度まで2校で試行実施していた中学校昼食提供事業を、平成25年度から全校で本格実施するに伴い、学校教育課保健給食係に「中学校昼食提供事業に関すること」を明記する。

このほか、一部文言整理するものである。

[質 疑] なし

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**日程第6** 議案第8号 市職員を任免するについて

委員長から、本件は宇治市議会提案前の案件であり公開することにより今後の市議会で影響を及ぼすと考えられるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

[説 明] 本議案は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第2条第1項第1号に基づき、定期人事異動に伴う市職員の任免について議決を求めるものである。

課長級では、平成25年度より教育部教育総務課に新設される主幹として、現健康福祉部子育て支援室こども福祉課主幹の井上宜久が着任する。教育部青少年課青少年係指導主事が1名京都府教育委員会へ帰任し、その後任に京都府教育委員会より割愛の出江英夫が教育部青少年課主幹兼総括指導主事として着任する。教育部教育改革推進室小中一貫教育課総括指導主事の瀬野克幸が京都府教育委員会へ帰任し、その後任に京都府教育委員会より割愛の海老瀬正純が着任する。教育部教育改革推進室小中一貫教育課主幹兼企画調整係長の二木明美が、組織機構改革による小中一貫教育課主幹廃止のため市長部局へ転出する。中央図書館長の北岡和昌が市長部局へ転出し、その後任として現市民環境部人権政策室男女共同参画課長の西澤久美子が着任する。大久保幼稚園長の太寿堂祐美が退職し、その後任に現木幡幼稚園長の岩崎温美が着任する。木幡幼稚園長の後任には現東宇治幼稚園長の小山妃が着任し、東宇治幼稚園長の後任には、現東宇治幼稚園主任の佐々木顕子が昇格して着任する。

[質 疑] なし

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 委員長が3月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後7時)